

ご本願との出会い オンライン伝道に向けて



「形像本尊（ご絵像）」



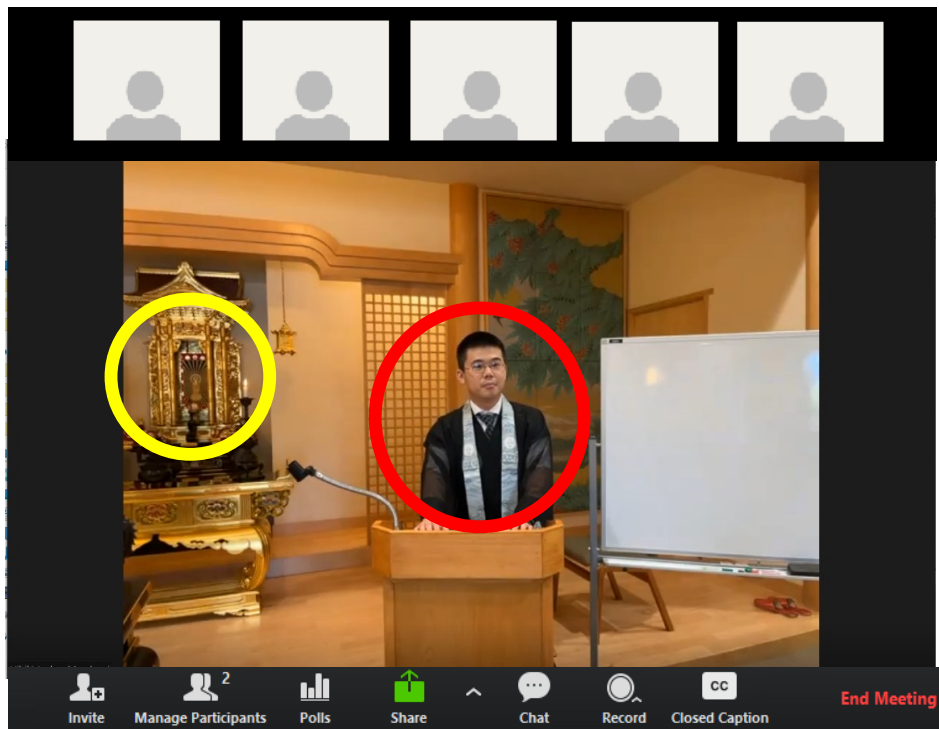
「名号本尊（六字名号）」

本派本願寺羅府別院 村上 順響

junkyo@nishihongwanji-la.org

コロナパンデミック以降の日常





オンラインサービスの画面
(西別院の場合)

VS



通常時の本堂

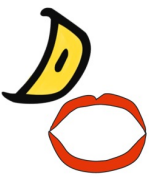
浄土真宗のご本尊



「形像本尊（ご絵像）」




「名号本尊（六字名号）」

名 = 名 

夜に名前を呼ぶ様

われ仏道を成るに至りて、名声十方に超えん。究竟して聞こゆるところなくは、誓ひて正覚を成らじと。

重誓偈

号 = 

大声で知らせめる

超日月光を放ちて塵刹を照らす。一切の群生、光照を蒙る。本願の名号は正定の業なり。至心信樂の願（本願）を因とす。

正信偈



Kimyo Jinjippo Mugeko Nyorai



Namu Fukashigiko Butsu



Namuamidabutsu



いまこの観経のなかの十声の称仏は、すなはち十願十行ありて具足す。いかんが具足する。「南無」といふはすなはちこれ帰命なり、またこれ発願回向の義なり。「阿弥陀仏」といふはすなはちこそその行なり。この義をもつてのゆえにかならず往生を得。
 (『観経疏』善導大師)

しかれば、「南無」の言は帰命なり。...「帰命」は本願招喚の勅命なり。「発願回向」といふは、如来(阿弥陀仏)すでに発願して衆生の行を回施したまふの心なり。「即是其行」といふは、すなはち選択本願これなり。「必得往生」といふは、不退の位に至ることを獲ることを彰すなり。(『教行信証』)

『華嚴経』の偈に説かれている通りである。「さまざまな行を修める菩薩を見て、善い心をおこしたり善くない心をおこしたりすることがあっても、菩薩はみな摂め取って救うであろう」（『教行信証』）

